

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第2334回

平成18年10月10日(火) 晴(本年度 第14回)

会長報告

丸山隆志

先週の行事について

● 10/9(月)：GSE第2800地区歓迎会(酒田)

出席：藤川PG・嶺岸GSE小委員長

樋渡副会長・富田

* * *

10月10日(旧体育の日)

昭和39年10月10日、東京オリンピックの開会式が行われました。夏季オリンピックとしては、異例ともいえる遅い開幕でした。東京の夏は高温・多湿であること、10月上旬までは秋雨前線が停滞すること、さらには10月10日が晴れの「特異日」(過去、統計的に晴れが多かった日)であること等を考慮して日程が決められました。その結果、開会式当日は移動性高気圧に覆われで運動には絶好の天気に恵まれました。

東京オリンピック開会式を記念して10月10日は「体育の日」として昭和41年に国民の祝日に制定されました。体育の日は平成12年の「国民の祝日に関する法律」の改正(いわゆるハッピーマンデー制度の導入)により10月第2月曜日となりました。

「体育の日」は晴れるのか？

ちなみに、東京で「体育の日」に1mm以上の雨が降った回数は、10月10日に固定されていた昭和41年から平成11年までの34年間で5回、10月第2月曜日となった平成12年から15年までの4年間で3回となっています。(気象庁資料参照)近年は、ハッピーマンデーがかならずしもハッピーでないようです。

昭和39年に開催された東京オリンピックは、アジア初のオリンピックです。歴史的に見ると、第二次世界大戦後の荒廃から立ち直り、復興を遂げた日本が取り組んだ国家的イベントであり、日本が国際

社会に復帰するシンボルの意味をもっていました。これを期に日本は、高度経済成長を遂げ、物の豊かさを実感してきました。しかしながら物の豊かさの反面、心が非常に貧しくなっているように思います。21世紀は、心の豊かさを取り戻す時代だと思っています。

東京都の石原慎太郎知事は、2016年の夏季オリンピック開催地に立候補することを表明しましたが、是非、成功すればいいなあと考えております。

本日は、米山月間にちなんで山形大学留学センター助教授 金 成土学(キム ソンガク)氏のゲストスピーチです。テーマは、「海外留学と国際理解」(山形大学の留学生支援事業を中心に)です。

金 成土学 氏の主な経歴

国籍：韓国

1993～1998年：日本政府国費留学生として、京都大学大学院留学(修士・博士課程)(農学博士)(生物資源経済学専攻)

1999～2002年：米国 North Dakota State University 農業経済学科客員研究員

2003年～：山形大学農学部留学生センター助教授

海外留学と国際理解

ゲストスピーチ

山形大学留学生センター

助教授

キム ソンガク

金 成土学 氏

約10年前、韓国で『日本は無い』という日本を痛烈に批判する本が出版され空前の大ベストセラーとなった。韓国の公営テレビ・KBS記者出身のインテリ女性が書いた

この本は、彼女が東京特派員として送った2年余りの日本での体験をもとにする。ここで、彼女は、「実際に体験した日本という国は、独特の小心さ、冷たい人間関係、日和見主義、排他・閉鎖性、差別主義



にみちており、全く学ぶべき点のない国である」と断言する。

しかし、彼女も言っているように、この本で描かれている日本に対する認識は客観的・理性的考察によるものではなく、あくまでも個人的体験から形成された主観的かつ感情的なものに過ぎない。にもかかわらず、本書の反響は大きく、大多数の韓国人に日本・日本人に対する否定的イメージを植え付けた。当時、日本留学を真剣に考えていた私の大学後輩はこの本を読んで日本留学を断念したくらいであった。数年後、あまりにも極端的であった本書の反動からか、今度は「日本からは学ぶことが沢山ある」と主張する『日本はある』という本が出版され、同じくベストセラーとなった。

韓国で巻き起こった日本・日本人に対する激論のなか、私にも度々「日本はあるのか、それともないのか」と見解が求められた。私の答えはいつも、「日本はある、同時にない」ということであった。日本・日本人には、短所もあれば、長所もある。これは世界中の全ての国家・個人においても同様であろう。しかし、日本での直接的な関係がない人々は、この当たり前の認識になかなか自信がもてない。

この事件(?)を通して、私は、海外留学の持つ意義についてあらためて考えさせられた。海外留学の第1の目的は、専門分野における先進学問の習得とされている。しかし、実際の海外生活を通じて相手国に対する均衡の取れた客観的な視覚・認識をもつようになることがより大事ではないかと。その国の言葉を通じて、その国の人々と長期にふれあい、交流する。それによって、相手国の慣習・文化・歴史・伝統、さらに短所や長所までが理解できるようになる。これは、自分の国のみならず、留学先の相手国、さらには国際社会の平和・発展にとっても非常に重要である。不信と誤解による葛藤・対立が続く今日の世界情勢を考えると、世界中の国々がお互いを理解し合う手段としても若者達の海外留学は重要な役割を果たしていると思う。

● ビジターの紹介 ●

静岡日本平 RC 望月由美さん

おばあさんのふるさとをめぐる2泊3日の旅で妹さんと来訪中。午後羽黒山予定。

「リード・ザ・ウェイ」

日本派遣チームのために作られたオリジナルソング
サングリット・シャーマ作詞
アトル・シャーマ作曲

Lead the way

We have a message for the day lead the way Be in the darkness or despair, We bring the day And what we see, we hear, we tell Who touch us by (2) And we all together shall lead the way(2) To hum, to sing and to sway ...	To hum, to sing and to sway ... La La, La La ... We'll lead the way (Para 2) We want the world with peace and no one to cry We want this world to sing and bring in the joy This song of love, we sing and want you to say And with joys we promise your tears away ... And what we see, we hear, we tell Who touch us by(2) And we all together shall lead the way(2) To hum, to sing and to sway ...
La La, La La ...	
We'll lead the way	
(Para 1) (Bells)	
We have the eyes that see... and must show We have the ears that hear the cry of the life We have the hands that hold the feel of the soul We have the heart that beats with the young and the old.	La La, La La ... We'll lead the way
(Chorus)	
And what we see, we hear, we tell... Who touch us by(2) And we all together shall lead the way(2)	(Chorus) (Ending) We have a message for the day ...

委員会報告

出席委員会

委員長 迎田 健

本日の出席		前々回の出席	
会 員 数	47 人	出 席 率	72.73%
出 席 数	33 人	修正出席数	35 人
出 席 率	66.67%	確定出席率	79.55%

● メイクアップされた方

藤川亨胤君 秦 幸助君 丸山隆志君
桜井 隆君 富田喜美子君 若生恒吉君

● ビジター 望月由美君(静岡・日本平 RC) 小池泰弘君(鶴岡西 RC)

スマイル

佐藤友行君 望月由美さんの来鶴を歓迎します。

阿部純次君 望月さん遠路ごくろうさまでした。美女のメイクアップにスマイルです。

富樫松夫君 ○静岡日本平ロータリークラブ望月様、ようこそ鶴岡へいらっしゃいました。○金さんスピーチ有難うございました。

越智茂昭君 ○静岡日本平ロータリークラブ望月様、ようこそいらっしゃいました。歓迎致します。○特攻隊の慰霊に湯殿山へ行ってきます。

塚原初男君 ○前回の台中港区 RC との続盟式と今春の訪台で美声を拝聴させて頂いた。○静岡・日本平 RC の望月由美さんの訪問にスマイル。

加藤 功君 本日はゲストスピーチしていただき大変有難うございました。今後留学生の有り方について、参考にさせていただきます。